

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホーム なでしこ
日付	平成19年2月23日
評価機関名	有限会社 アウルメディカルサービス 評価調査員：薬剤師・介護支援専門員 介護経験歴6年
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)	

外部評価の結果

<p>観評</p> <p>全体を通して(特に良いと思われる点など) (記述式)</p> <p>建物の構造上、見守りにくい場所をカバーするにあたって、台所で作業していても洗面所の鏡を通してしっかり確認している点と、職員もどが見守りにくいのかよく把握し注意をしている点が、大きく前年と比較して向上しています。</p> <p>施設長は代表者の家族であり、常にグループホームにいたので、管理者及び職員とのコミュニケーションや配置に対しての迅速さは十分に図られています。</p> <p>入居者の行動をよく観察し、入居者の気分などを時間ごとに目で分かる記録になっています。そして1日のうち、どの時間が不穏になるか分かりやすくなっています。</p> <p>改善の余地があると思われる点(記述式)</p> <p>入居者によっては自分の意思を主張され、何もせず居室に入ってしまう方も見受けられました。機能維持のために、施設長を含めた職員一同で検討すれば大きく改善されると思います。</p> <p>代表者の考えもあり、入居者と接する事を主としているので会話をする姿が多く見受けられました。職員の中には入居者との触れ合いよりも台所等の仕事を優先する職員もいるようです。職員一人一人の意見や行動を把握して、優先順位を決めると要領よく事を運べるでしょう。</p> <p>介護記録はよく書かれていますが、重複しているところもあるようです。記入には時間もかかります。少し簡素化されてはいいかでしょうか。</p>
--

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	(記述式で回答) 職員は何事も入居者の身になって考え、自分の家族のように介護しようと考えています。また、自分が入居しても良いと思えるグループホームにしたいと思っています。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	(記述式で回答) 職員は入居者に帰宅願望があれば家族に電話をしてもらったり、入居者のしぐさを観察して何か作業をしてもらったりと、入居者と接する時間を少しでも多く取るようにしています。 ホーム内を歩くことが好きな人には制約しないで、自由に歩てもらいます。その人の生活パターンを把握することで対応しています。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	(記述式で回答) 居室の掃除をするため部屋へ入る時など、必ず言葉かけをして入室しています。 失禁時は他の入居者に分からないように対応しています。 居室の入り口にのれんを掛けて、中を見えにくくしたり、居室のドアは必ず閉めるなど、個人のプライバシー保護に取り組んでいます。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	転倒防止のため、ベッドサイドに鈴をつけたり、ドアに鈴を付け夜間動きが分かるようにしました。不穏になる人などは夜間寝るとき居間の隣にある畳の間で寝てもらい、見守りしやすいようにしました。また入居者の介護度に合わせて職員を増やすなど一丸となって努力しています。		